



お元気ですか!

志村 たかよし です

第653号 2013年8月4日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「清水魚市場・大阪木津市場視察」と先行営業施設「築地新市場」について 築地市場等街づくり対策特別委員会が「勉強会」

築地市場等街づくり対策特別委員会は、7月16、17日に行った清水魚市場と大阪木津市場の視察（本紙「前号」「今号」で報告）をうけ、29日に委員会「勉強会」を開催し、視察で学んだ成果や中央区が計画している先行営業施設「築地新市場」について意見交換をおこないました。

私は、視察先の施設で行われていた出店業者たちによる自発的管理が「築地新市場」にも必要だと思いが出店対象となる水産仲卸の組合や市場関係者が「受け入れがたい（資料1）」、「豊洲に吸収すべき（資料2）」と批判している状況は計画への影響が大きいのではないかと、「築地新市場」も組合設立による運営を考えているのか、千客万来施設との競合をどう考えるか、などの問題を指摘しました。この「勉強会」には、視察に同行した田村環境土木部長と竹内副参事が出席しました。

（資料1）

水産仲卸を誘致するという計画は受け入れがたい

東卸伊藤理事長の記者会見から「築地新市場」にかかわる発言
（日刊食料新聞7月17日付より抜粋）

「移転後の築地場外の街づくりは重要課題であるが、我々としては豊洲一本に専念すべきではないかと考えている。築地市場から水産仲卸70社程度を誘致するという計画は受け入れがたい」

（資料2）

築地をすべて豊洲に吸収すべき

鮮魚マーケットにかかわる築地関係者からの意見
（日刊食料新聞「視点」7月26日付より抜粋）

「中央区は築地ブランドを利用すべく、場外に『築地新市場』という鮮魚マーケットを作る作業を着々と進めている。競合するのは間違いない。これから、豊洲という市場を發展させるためには、築地をすべて豊洲に吸収すべき」

大阪木津市場を視察



水産仲卸店舗の様子。



青果仲卸店舗の様子。



中央に白線。左の店は、はみ出し陳列してますね。



右の棟がスーパーや銭湯。左は市場や食事処の棟。

築地市場等街づくり対策特別委員会の視察で、7月17日に大阪木津地方卸売市場を視察しました。(清水魚市場視察については前号)

木津卸売市場は大阪難波のすぐ近くにあります。

仲卸店舗は、水産、青果も一つの棟ですが、同業者の店舗が並んでいるため「目利き」するのに比較しやすい配置となっていました。

通路の中心に「はみだし陳

列」を規制するための白線が引かれています。守っていない店舗も目立ちました。

敷地内には、仲卸店舗と関連事業者や数軒の食事処が入っている棟と、業務用冷凍食品や調味料などを販売する大きな業務スーパーが入っている棟がありました。

その2階に大阪木津市場(株)が運営するスーパー銭湯があったのには驚きました。



何でもそろいそうな大きな業務スーパー。



集積所に出されたごみは業者が一括処理します。

「意見」「要望など」お気軽に「連絡ください」(03-6360-6600)